第3学年3組道徳指導案

1．主題名　　よく考えて〔内容項目1―(1)〕

2．資料名　　「だれにも言えない」

3．主題について

（1）ねらいとする価値について

自分の過ちに気づくことは、なかなか難しいことである。他人に言われて気づいたり、言われても自分のことではないと思ったりすることも多い。社会生活では、自分を客観的に見つめ、内省することは不可欠な要素である。そしてここから、よく考えて行動しようとする心情を育てるようにしたい。

（2）ねらいにかかわる児童の実態

この時期の児童は他人の立場を思いやる気持ちよりも自分のことが大事で、つい自分本位な行動に走る傾向が強い。自分が失敗したときでも、その失敗の大きさについての認識が足りないのも特徴的なことである。

（3）資料について

主人公は、次の日の時間割をそろえているときに理科の教科書がないことに気づく。その日の夜はお母さんに、翌日の学校では友達に、もう一度よく探すように言われるが、ないと言い張ってしまう。しかしその夜、自分の部屋で理科の教科書を発見する。見つけたことを今さらだれにも言えないと思って、いったんは教科書を押し入れに隠すが、思い直してランドセルに入れるという内容である。主人公の気持ちの移り変わりを通して、よく考えて行動することの大切さを考えるのに適した資料である。

4．指導計画 　　1 時間（本時）

5．本時の学習指導

（1）ねらい

よく考えて行動しようとする心情を育てる。

（2）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習内容 | 主な発問と予想される児童の反応 | 教師の支援 | 時間 |
| １これまでよく考えずに行動し、失敗したことがあるか、また、それはどんなことか聞く。  ２教師の体験談を話す。  ３「だれにも言えない」の範読をし、「わたし」の気持ちについて考えを話し合う。  ３再び範読をはじめ、「わたし」の気持ちの変化について考える。  ４再び範読をはじめ、「わたし」の気持ちの変化について考える。  ５自分自身の体験をもう一度振り返る。  ６最初に話した体験談を詳しく話し、まとめとする。 | ○みんなはよく考えずに行動し、失敗したことがありますか。  ・友人関係のこと  ・先生に怒られたこと  ○先生はこんなことがありました。  ○範読の範囲は、「「ぜったいにないよ。」と言ってしまいました。」までとする。  ○いくら探しても教科書が見つからなかったとき、「わたし」はどんな気持ちだったでしょうか。  ・おかしいなあ。  ・どうしよう。  ○範囲は「おしいれのいちばんおくのほうへおしこんでしまいました。」までとする。  ○教科書が見つかったとき、「わたし」はどんな気持ちだったでしょうか。  ・こんなところにあったのか。  ・隠しておこう。  ・ばれないようにしよう。  ○範囲は資料の最後までとする。  ○「やっぱり、これじゃあだめだよね・・・」といった「わたし」はどんな気持ちだったでしょうか。  ・このまま黙っているのはよくないよね。  ・正直に謝ろう。  ○よく考えて行動すればよかったなあ。と思ったことはありますか。プリントに記入しましょう。  ○初めに話した体験談ですが、実はこのようなことがありました。 | ○思いついたことを抵抗なく話せる雰囲気を作る。  ○思い込みが強く、他人の言葉に耳を傾けることの出来ない主人公の気持ちをとらえさせる。  ○読むための姿勢を作るため、一度姿勢を正すよう指示する。  ○見つかった嬉しさより、大騒ぎし、失礼な態度をとったことが気になる主人公の気持ちをとらえさせる。  ○隠そうとする主人公の心の弱さを十分にとらえさせる。  ○罪悪感、やりきれない思いから、正直に話そうと決めた主人公の気持ちをとらえさせる。  ○教師の体験から、よく考えて行動することの大切さを話す。 | ５  １  １０  １０  １０  ５  ４ |

６．備考　　　在籍生徒数　　35名

７．板書計画

教科書が見つからなかったとき

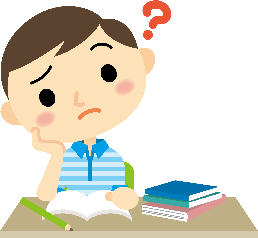


だれにも言えない

「やっぱり、これじゃあだめだよね・・・」

よく考えて行動する

教科書が見つかったとき



|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**「もっとよく考えて行動すればよかったな。」と思うことはなんですか？**

名前